



2015年9月発行

船橋市学童保育連絡協議会

公式サイト <http://homepage2.nifty.com/fghrk/>

メール [fghrk\\_info@freeml.com](mailto:fghrk_info@freeml.com)



## 要望書への回答を報告します。

7月30日に、保育園父母会連絡会など市内の子育て団体と共同で、統一要望書を提出しました。同時に、市長との懇談を要望しました。9月18日に回答がありましたので、報告します。

※要望書の全文と回答の全文は、HPを参照してください。

### ・民間団体への委託について

船橋市は、保育園、幼稚園など民間で学童保育を運営する団体に学童保育(放課後児童健全育成事業)を委託することができます。

しかしながら委託の手順を定めた要綱がないため、事実上委託は不可能な状態です。

※一方、放課後児童健全育成事業を行う団体は、市長宛に事業開始届を提出する義務があります。

船橋市の放課後児童健全育成事業は、公設公営の放課後ルームで運営することを要望しています。ただ、施設の増設がなかなか進まない中、ニーズの高い地域では民間団体への委託も必要と考えます。

要望書では、「入所不許可の児童が適切な民間業者を利用できるように、委託の要綱などを定めてください。」と要望しましたが、「民間委託の要綱を定める予定はございません。」との回答でした。

### ・待機児対策が遅れています。

4月1日現在で471名の待機児が発生していましたが、9月1日でも366名が待機になっています。船橋市は昨年の議会で、「放課後子供教室をすでに実施している他市の例を見ると、放課後ルームの利用状況に少なからず影響を与えることが予想されるので、今後の利用状況を見た上で施設増設も含めて多様な手法を検討したい。」と答弁しています。

今年4月と9月の在籍児童数を比較しました。自然減を加味すると子供教室の影響は約5%と考えられます。各ルームでは、2~6名の児童減に相当しますが、待機児が解消するような影響とは考えられません。

	小学校数	4月在籍	9月在籍	減員	割合
全体	54	4724	4462	262	5.5%
2014 子供教室実施	5	432	398	34	7.9%
2015 子供教室実施	26	2212	2042	170	7.7%
子供教室未実施	23	2080	2022	58	2.8%

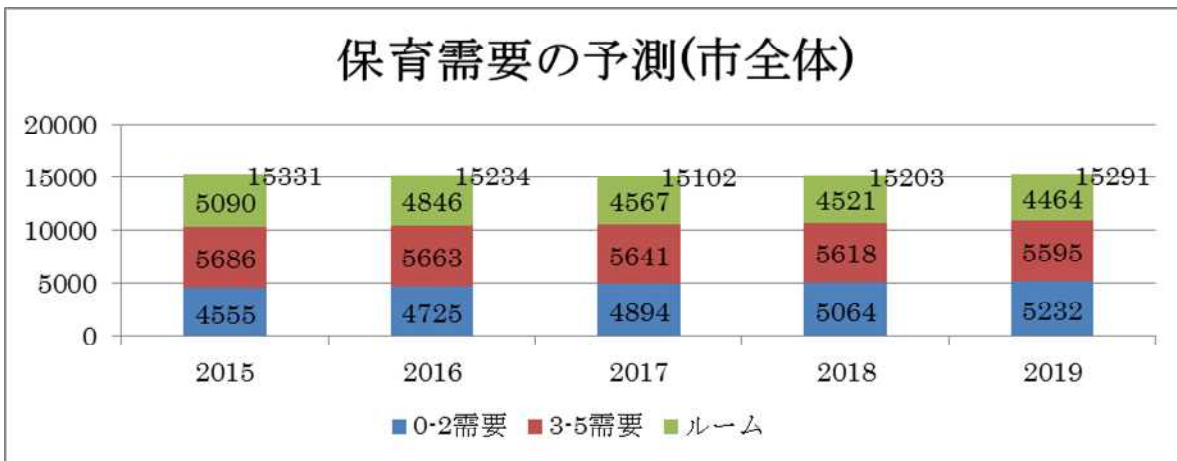
・放課後ルーム利用者の量の見込みが、低く抑えられています。

船橋市子ども・子育て支援事業計画には、今後5年間の「量の見込み」が記載されています。

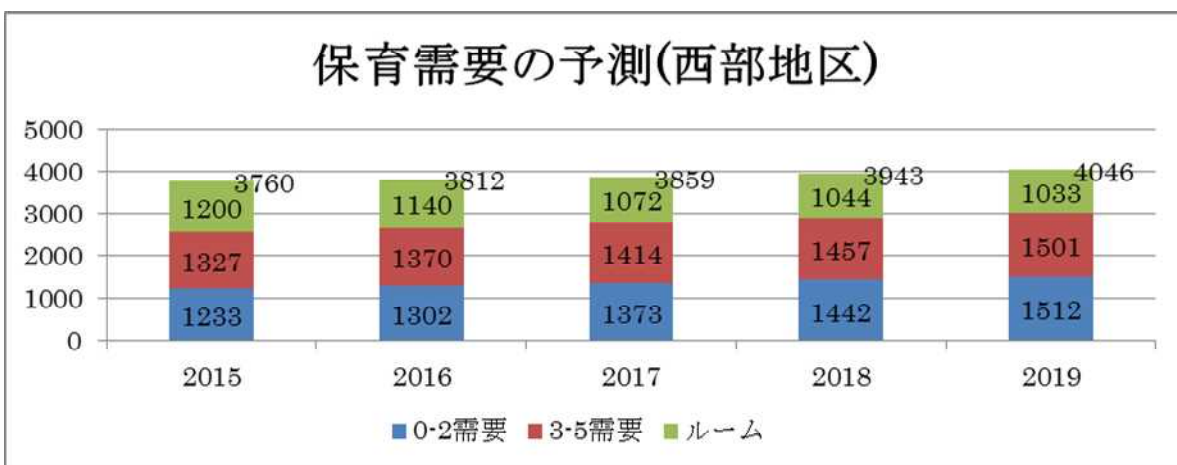
今年度の保育園（3～5歳・保育認定子ども）の量の見込みが、5686人です。そして、放課後ルームの利用者は在籍児童と不許可者の合計が5195人です。

ところが、この5686人が小学生となる3年後の量の見込みが、4521人と計画されています。人口増が見込まれる西部地区では、保育需要が5年間で1327から1501に増えているにもかかわらず、放課後ルームは、1200から1033に減少するとされています。

市の回答では、「量の見込みの算定方法につきましては、小学校低学年では、ニーズ調査に基づき、国の手引きに沿って算出した推計値をベースに、放課後子供教室の利用に移行すると想定された人数を勘案し算出しております。小学校高学年では、平成26年4月時点で高学年の希望者全員が入所できている放課後ルームの利用率を参考として算出した推計値をベースに、放課後子供教室の利用に移行すると想定された人数を勘案し算出しております。」とあり、「放課後子供教室の利用に移行すると想定された人数」を過大に算出している可能性があります。



※2015年度のルームのニーズ予測は5090人ですが、在籍児童と不許可者の合計が5195人で既に100人足りません。



※3～5の需要増とルームの需要増の傾向が一致していません。